

フィールド・スタディ プログラム情報シート

2026 年秋セメスター

プログラム名	韓国南部エリアの宗教(神話)、近現代遺産と文化(社会、政治、歴史、言語、教育、経済など)の変容		
担当教員	金 賛會	実習地	韓国(釜山、慶州)
開講言語	日本語	単位数	2
募集人数(最大)	15	最小実施人数	5
シラバス	https://syllabus.apu.ac.jp/syllabus/s/a-syllabus/a0ZQ8000004S4LtMAK/202611312?language=ja vv		

プログラム日程(予定)

授業	日程	時限	授業概要	形式
事前授業	2026/12/2(水)	5 限	実習計画、実習地紹介	対面(APU)
	2026/12/16(水)	5 限・6 限	・実習内容の文献発表と G ワークショップ(韓国文化理解のためのテキスト輪読) ・各自のリサーチテーマ設定(概要発表)と G ワークショップ	対面(APU)
	2027/1/13(水)	5 限・6 限	・フィールドワーク地の調査発表(分担)と G ワークショップ ・各自のリサーチ内容の詳細発表と G ワークショップ、最終点検と菜作成	対面(APU)
実習	1 日目 2027/3/1(月)	・釜山ビジネスホテル ロビー集合(14時) ・伽耶・新羅神話関連講演(東義大学・鄭孝雲名誉教授)とディスカッション		
	2 日目 2027/3/2(火)	(終日)慶州の新羅神話伝承地の見学と調査		
	3 日目 2027/3/3(水)	(AM)伽耶の神話遺跡地の見学と調査 (PM)釜山近現代遺跡関連講演(東義大学・崔然柱教授)とディスカッション 釜山地域の近現代文化遺跡地の見学調査		
	4 日目 2027/3/4(木)	(終日)日本と関わる釜山地域の近現代文化遺跡地の見学調査		
	5 日目 2027/3/5(金)	(AM)韓日・日韓交流関連講演(釜山外国語大学元総長・鄭起永教授)、 釜山外国語大学日本語融合学部学生と個別テーマ発表 (PM)テーマ別グループ分け、釜山市内現地調査 (釜山外国語大学日本語融合学部学生と合同にて実施予定)		
	6 日目 2027/3/6(土)	釜山ビジネスホテルにて解散(9 時)		
事後授業	2027/3/9(火)	1 限・2 限	・実習のまとめ(共同)と発表 ・実習のまとめ(各自テーマ別)と発表、G ディスカッション	オンライン

プログラム参加費用(目安)

大学徴収	約 65,000 円 (5 名の場合) 約 50,000 円 (10 名の場合) 約 42,000 円 (15 名の場合) - 危機管理サポート費用(J-TAS) - 宿泊費および施設利用料(ホテル) - 現地交通費(貸切バス)
現地で各自が支払い	約 75,000 円(5 名の場合) 約 40,000 円(10 名の場合) 約 30,000 円(15 名の場合) - 現地での謝礼(通訳者および講演者) - 施設入場料や見学科 - 現地での公共交通費
その他上記に含まれない費用	- 海外旅行保険(受講確定後大学指定申し込み) - 航空券を含む実習地までの往復交通費 - VISA 取得費用、予防接種費用(必要な場合)

アウトリーチ・リサーチ・オフィス

atfs@apu.ac.jp